

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-8968

(P2001-8968A)

(43)公開日 平成13年1月16日(2001.1.16)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

識別記号

FI

テーマコート” (参考)

A 6 1 F 13/494

A 4 1 B 13/02

K 3 B 0 2 9

13/15

審査請求 未請求 請求項の数4 O.L (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平11-186660

(22)出願日 平成11年6月30日(1999.6.30)

(71)出願人 000115108

ユニ・チャーム株式会社

愛媛県川之江市金生町下分182番地

(72)発明者 三嶋 祥宜

香川県三豊郡豊浜町和田浜高須賀1531-7

ユニ・チャーム株式会社テクニカルセン  
ター内

(72) 発明者 佐山 寧

香川県三豊郡豊浜町和田浜高須賀1531-7

ユニ・チャーム株式会社テクニカルセン  
ター内

(74)代理人 100066267

弁理士 白浜 吉治

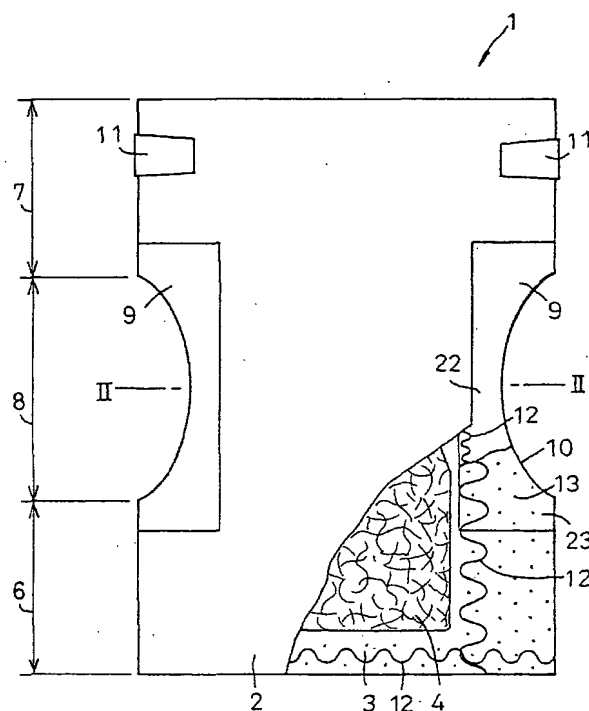
Fターム(参考) 3B029 BB07 BC06 BD10 BD13

(54)【発明の名称】 使い捨ておむつ

(57) 【要約】

【課題】 着用させることが容易な使い捨ておむつの提供。

【解決手段】 使い捨ておむつ１の前後胴周り域６，７の内外面シート２，３がおむつ１の幅方向に弾性伸縮性を有するシート２，３で形成され、股下域８の両側縁部９がおむつ１の長手方向と幅方向とに弾性伸縮性を有する脚周り内外面シート２２，２３で形成される。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 着用者の肌に当接する内面シートと、着衣に当接する外面シートと、これら内外面シート間に介在する吸収体とからなり、前後の長手方向に前胴周り域と、後胴周り域と、これら両域間に位置する股下域とを有し、前記股下域の両側縁部それぞれで着用者の脚周りを覆うことができる使い捨ておむつにおいて、前記前後胴周り域の内外面シートそれぞれが前記長手方向と直交する幅方向に弾性伸縮性を有するシートで形成され、前記股下域では、前記両側縁部の内外面シートが前記長手方向と幅方向とに弾性伸縮性を有し、残余の部分の内外面シートが前記両方向のうちの少なくとも幅方向に弾性伸縮性を有していることを特徴とする前記おむつ。

【請求項2】 前記股下域のほぼ全体において前記内外面シートが前記長手方向と幅方向とに弾性伸縮性を有している請求項1記載のおむつ。

【請求項3】 前記股下域の両側縁部それぞれの前記内外面シートは、前記長手方向と幅方向とに弾性伸縮性を有する1枚のシートが兼ねている請求項1記載のおむつ。

【請求項4】 前記前後胴周り域および股下域にはギャザーが形成されていない請求項1～3のいずれかに記載のおむつ。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 この発明は、使い捨ておむつに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、使い捨ておむつの内外面シートが弾性的に非伸縮性の不織布やプラスチックフィルムであって、おむつの胴周り縁部や脚周り縁部に弾性部材を伸長状態で取り付けることによって、それら縁部にギャザーを形成し、おむつ着用者の胴周りや脚周りにおむつをフィットさせることは周知である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 前記従来のおむつは、前記ギャザーの影響で小さく縮んだ状態にあるから、これを乳幼児に着用させるには、予めそのギャザーを伸長しておむつを大きく広げて着用を容易にするという手間を要する。また、前記従来のおむつは、弾性部材の延びる方向にのみ伸縮するもので、着用者の身体の複雑な動きには必ずしも十分に追従できず、着用したおむつがずり落ちたり、よじれたりし易い。

【0004】 そこで、この発明が課題とするのは、着用するときにギャザーを伸長する手間が不要であり、かつ、着用者の身体の動きによく追従することができる使い捨ておむつの提供である。

【0005】

【課題を解決するための手段】 前記課題解決のために、

この発明が前提とするのは、着用者の肌に当接する内面シートと、着衣に当接する外面シートと、これら内外面シート間に介在する吸収体とからなり、前後の長手方向に前胴周り域と、後胴周り域と、これら両域間に位置する股下域とを有し、前記股下域の両側縁部それぞれで着用者の脚周りを覆うことができる使い捨ておむつである。

【0006】 かかる前提において、この発明が特徴とするところは、前記前後胴周り域の内外面シートそれぞれが前記長手方向と直交する幅方向に弾性伸縮性を有するシートで形成され、前記股下域では、前記両側縁部の内外面シートが前記長手方向と幅方向とに弾性伸縮性を有し、残余の部分の内外面シートが前記両方向のうちの少なくとも幅方向に弾性伸縮性を有していること、にある。

【0007】 この発明の好ましい実施態様の一つにおいて、前記股下域のほぼ全体において前記内外面シートが前記長手方向と幅方向とに弾性伸縮性を有している。

【0008】 好ましい実施態様の他の一つにおいて、前記股下域の両側縁部それぞれの前記内外面シートは、前記長手方向と幅方向とに弾性伸縮性を有する1枚のシートが兼ねている。

【0009】 好ましい実施態様のさらに他の一つにおいて、前記前後胴周り域および股下域にはギャザーが形成されていない。

【0010】

【発明の実施の形態】 添付の図面を参照してこの発明に係る使い捨ておむつの詳細を説明すると、以下のとおりである。

【0011】 図1、2は、使い捨ておむつ1の部分破断平面図と、図1のI I-I I線切断面を示す図面である。おむつ1は、着用者の肌に当接する透液性内面シート2と、着衣に当接する外面シート3と、これら両シート2、3間に介在する吸液性コア4とからなる。おむつ1は、前後の長手方向に前胴周り域6と、後胴周り域7と、これら両域6、7間に位置する股下域8とを有し、股下域8の左右両側縁部9には着用者の脚周りにフィットするように湾曲縁10が形成されている。後胴周り域7の左右両側縁部には、テープファスナ11が取り付けられている。内外面シート2、3は、コア4の周縁から延出する部分で重なり合い、ホットメルト接着剤12で互いに接合している。

【0012】 かかるおむつ1において、内外面シート2、3のそれぞれは、おむつ1の長手方向と直交する幅方向への弾性伸縮性を有している。ただし、股下域8の両側縁部9では、内外面シート2、3のそれぞれを局部的に切り欠いて、そこにおむつ1の長手方向と幅方向とに弾性伸縮性を有する脚周り内面シート22と、脚周り外面シート23とが取り付けられている。脚周り内面シート22は、好ましくは吸汗性と通気性とを有し、脚周

3

り外面シート23が、好ましくは通気性と不透液性とを有している。これら脚周り内外面シート22、23は、それぞれ内面シート2の内面と、外面シート3の内面とに、例えばサインカーブ状に塗布されたホットメルト接着剤12で接合し、脚周り内外面シート22、23どうしも重なり合って、サインカーブ状や小さなドット状に塗布されたホットメルト接着剤13で互いに接合している(図1参照)。

【0013】おむつ1は、これを図1のように広げて乳幼児に着用させることができる。このおむつ1には従来のおむつのようなギャザーがないから、おむつ1を広げたなら、ギャザーを伸ばす手間をかけることなく、乳幼児にすぐに着用させることができる。おむつ1は、内外面シート2、3を胴周り方向へ伸長させて着用すれば身体によく密着する。着用したおむつ1は、脚周りがあらゆる方向へ自由に伸縮するので着用者の脚の動きを妨げることがない。

【0014】図3は、この発明の実施態様の一例を示す図2と同様な図面の一部分である。このおむつ1では、股下域8の側縁部9のそれぞれにおむつ1の長手方向と幅方向とに弾性伸縮性を有する1枚の脚周りシート25がホットメルト接着剤12、13を介して内外面シート2、3それぞれの内面に取り付けられている。かかる脚周りシート25は、図2における脚周り内面シート22と脚周り外面シート23とを兼ねている。

【0015】図4、5は、この発明の実施態様の一例を示す図1と同様な図面と、そのV-V線切断面を示す図面である。このおむつ1では、内面シート2が前後胴周り域内面シート2A、2Bと股下域内面シート2Cとに、外面シート3が前後胴周り域外面シート3A、3Bと股下域外面シート3Cとに分割されている。前後胴周り域内面シート2A、2Bと前後胴周り域外面シート3A、3Bとは、幅方向への弾性伸縮性を有し、股下域内面シート2Cと股下域外面シート3Cとは、長手方向と幅方向とに弾性伸縮性を有する。これらシート2A~2C、3A~3Cは、互いに重なり合う部分においてサインカーブ状や小さなドット状に塗布されたホットメルト接着剤12、13によって接合している。図5において、コア4は、前後胴周り域6、7および股下域8で内外面シート2A~2C、3A~3Cの内面に適宜接着することができ、かかるおむつ1もまた、図1のおむつ

4

1と同様に着用させることが容易であり、着用させたおむつ1は着用者の脚の動き、および股下域の動きの妨げになることがない。

【0016】かようなおむつ1において、幅方向への伸縮性を有する内外面シート2、2A、2B、3、3A、3Bには、一軸方向への伸縮性を有する不織布やエラストマーのフィルムを使用することができる。不織布やフィルムには適宜の大きさの開孔を多数形成して、所要の透液性を得ることができる。また、脚周り内面シート22や脚周り外面シート23、脚周りシート25、股下域内外面シート2C、3Cには、二軸方向への伸縮性を有する不織布やエラストマーフィルムを使用することができる。これらの不織布やフィルムは、ホットメルト接着剤等の接着剤や超音波や熱による溶着によって接合することができる。シートどうしの接合は、シートの伸縮性を損なわないようにすることが重要であり、例えば接着剤であればシートに対してサインカーブ状に塗布すると、伸縮性を損なうことがないと同時に、内外面シート2、3の間でコア4からおむつ1の周縁に向かって体液が流れようとするのを止めるのにも有効である。

【0017】

【発明の効果】この発明に係る使い捨ておむつにはギャザーがないから、おむつを着用させることが容易である。おむつの脚周りや股下域は、おむつの長手方向と幅方向とに弾性的に伸縮するから、着用者の脚や股下域の動きを妨げることがない。

【図面の簡単な説明】

【図1】使い捨ておむつの部分破断平面図。

【図2】図1のI I-I I線切断面を示す図。

【図3】実施態様の一例を示す図2と同様な図面。

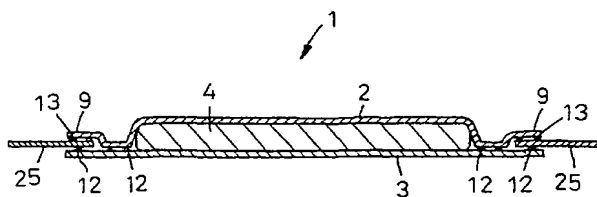
【図4】実施態様の他の一例を示す図1と同様な図面。

【図5】図4のV-V線切断面を示す図。

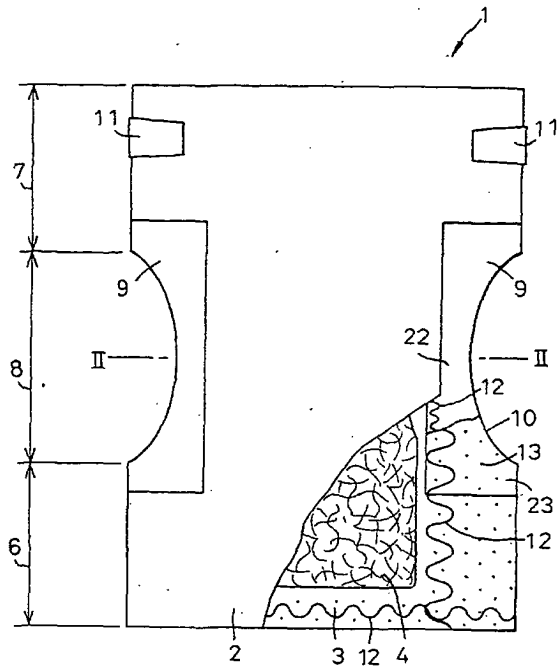
【符号の説明】

- 1 おむつ
- 2 内面シート
- 3 外面シート
- 4 コア
- 6 前胴周り域
- 7 後胴周り域
- 8 股下域

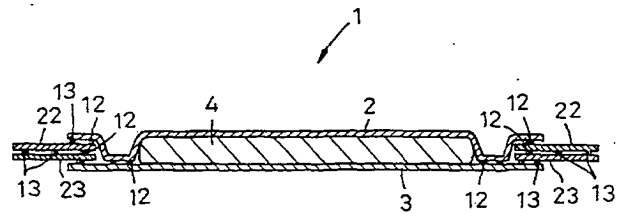
【図3】



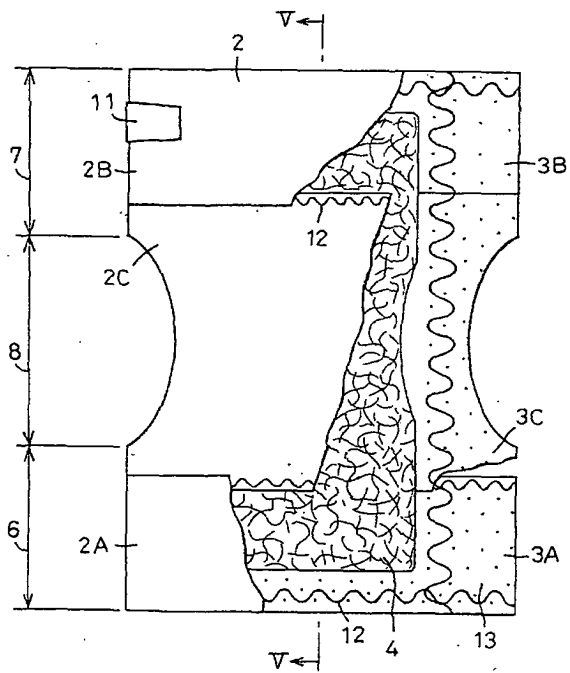
【図 1】



【図 2】



【図 4】



【図 5】

